

2020年度 年末手当シリーズ②③

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

会社は「約 1,500 億円程度を削減する」と言っているが、人件費より「もっと削減するところ」がある！会社のやる気が見えない。この厳しい状況下だからこそ、これまで会社が言い続けていた「安定支給」を今こそするべき！

会社は「赤字が出ている」と声高に叫んで、年末手当少額回答を狙っています！そんな無責任な声に負けずに頑張ろう！

持ち家では、思いがけない修繕費や設備交換などの出費が発生する。その蓄えが年2回の期末手当に頼っている。すでに給湯ボイラーが故障し、結構な出費がかかっている。年末手当は生活のための「要」だ！

高齢の親に仕送りをしている。コロナの影響で親にも会えていない。せめて今までどおりの仕送りをしてあげたい！

生活給の年末手当の削減は死活問題！各労働組合の交渉委員のみなさんには「全社員を代表している」という想いで奮闘をお願いします！

業績が絶好調のときに、会社は「業績連動ではない」「厳しいときにも出してきた」と言っていた。このような状況になることを“先読みしていた会社”に敬意を表したい。もちろん満額を出してくれるものだと思っています！

私たちが生活がかかっています。**3.0ヶ月満額**に向けて職場から闘います！共に頑張らしましょう！

私は無所属ですが、正直2ヶ月出れば良いと思う。でも、いまだに「超勤はするな」とも全然なっていないから、会社的には余裕があるんだと思う。コロナの状況や経営の状況など、今後の見通しを会社はどのように考えているか聞いてもらいたい。ただ、頑張らって出してもらえれば仕事に対するやる気は間違いなく出る。

コロナ禍の中で「感染するんじゃないか」と怯えながら働いてきたのだから、会社は社員に対して今こそ誠意を見せるべきである！